

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
ROOMY
DAIHATSU
THOR
SUBARU
JUSTY

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

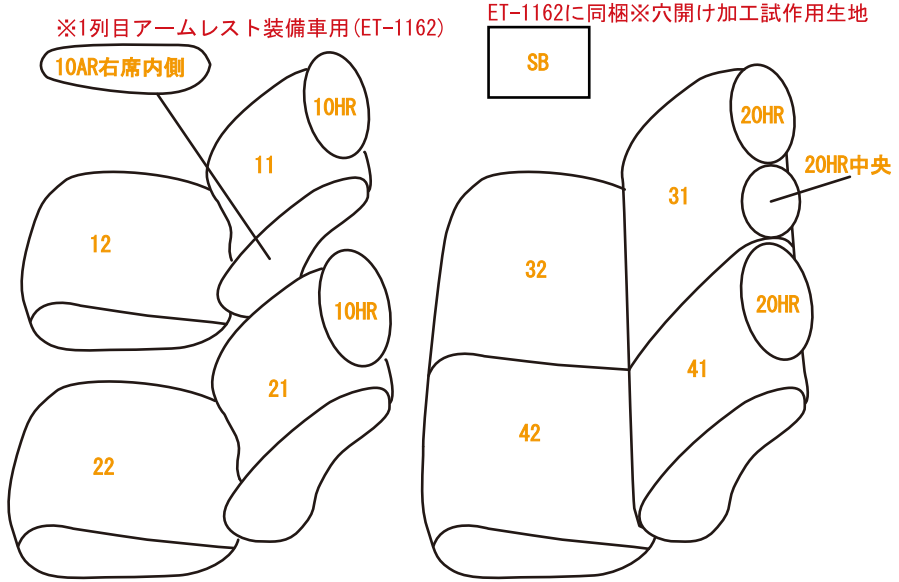
…> 05-28

シートカバーの装着方法

…> 29-30

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 ソケットレンチセット ソケット(14mm/10mm)
※1列目アームレスト装備車に14mm・シートバックテーブル装備車に10mm
が必要になります。どちらも未装備の車には必要ありません。
- 2 プラスドライバー
- 3 クラツィオ専用 ヘラ(付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

1 列目運転席座面の装着方法では、シートリフター装備車のシートを主に使用しています。シートリフター未装備車は、シート外側の固定は8ページ20番を参考に、それ以外は同様に装着を行って下さい。



- 1 始めに背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を、図のようにめくり上げられる状態にします。
生地の固定の解除方法は2番の説明を確認して下さい。



- 4 シートリフター装備車はシートを一番高い位置まで上げてカバーの装着を行います。



- 2 生地はシート裏の金属部分にゴムで引っ掛けて固定されているので、ゴムの固定をほぐし生地を外します。
※ゴムを外してもゴムには配線が掛かっているため、1番の状態以上に生地はめくり上がりません。



- 5 シートリフターのレバーを外します。
レバーのキャップをへらなどを使用して外します。



- 3 2番のゴムを外していると、純正シート表皮を固定しているゴムも一緒に外してしまう場合があります。
こちらを外す必要は無いので外してしまった場合は元通りに固定して下さい。



- 6 キャップを外すと中にネジが1本あるのでドライバーを使用してネジを外します。
ネジを外すとシートリフターのレバーが外れます。



- 7 リクライニングレバーの先端にカバーの加工穴を通します。
 ※シートリフター装備車のカバーでは加工穴は2か所あります。大きな穴はシートリフターの軸部分の穴になります。間違わないように注意して下さい。



- 10 シートの内側はシートベルトバックルの内側に生地を通してかぶせます。



- 8 カバーをシートの先端から背もたれ側へ、シートのラインに合わせてかぶせます。シート先端部分の生地がしっかりと張るようにかぶせます。



- 11 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 9 リクライニングレバーの軸部分にカバーの加工穴を通します。加工穴は小さめに開けているので、レバーの手前のフチに生地をしっかり入れ込み、それから生地の伸びを利用して全体を通します。大きい方の加工穴をシートリフターの軸部分に合わせます。



- 12 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。
 ※シートヒーター装備車は、生地を引き出す際に配線部分に注意して生地を引き出して下さい。



- 13 シートの軸部分にヘラなどを使用して、生地を引っ掛けるように入れ込みます。



- 14 シートの内側も同様に入れ込みます。



- 15 シートの軸部分の生地は、引っ掛かりが浅いとシートを動かしていると外れてしまう場合があります。シートの軸部分に生地を入れ込み、軸の下側の生地を下へ引っ張ることで、よりしっかりと生地が固定されます。

16番から19番まではシートリフター装備車の外側の説明になります。



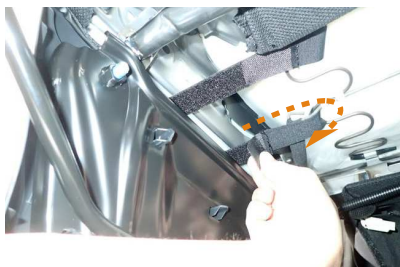
- 16 カバー外側に付いている2本のマジックテープのベルトを、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 17 マジックテープのベルトが付いていた生地のも、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 18 16番で入れ込んだマジックテープのベルトを、シートの裏から引き出します。
※このベルトはシートを一番高い位置に調整していないと出てこないで、注意して下さい。



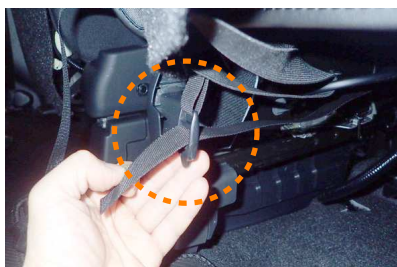
- 19 マジックテープのベルトはシート裏の金属部分に巻き付けて折り返し、先端がオスになっているマジックテープをメス側に貼り付けて固定します。



- 22 ベルトをシートの背面から引き出します。



- 20 シートの内側面です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。シートリフター未装備車は外側も内側と同様に固定します。



- 23 引き出したベルトを、6ページ12番で引き出した生地が付いているバックルに通します。



- 21 カバー前側に付いているベルトを、図のシート裏にある金属バーの上を通して、シート背面へ入れ込みます。
※金属バーはシートリフター装備車のみにあります。



- 24 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするのでご注意ください。



- 25 前後のベルトを固定出来たら、次にシート側面の後ろ側に付いているベルトを固定します。ベルトはシートの内側のベルトを外側のバックル側に引き出して固定します。



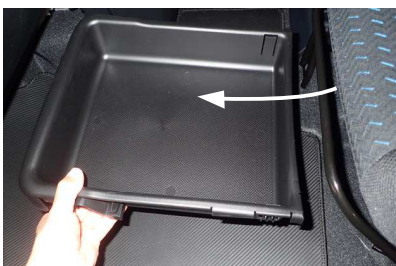
- 26 カバーの背面は図のようになります。



- 27 シートリフターのレバーを元通りに固定します。



- 28 カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。



- 29 助手席シートアンダートレイ装備車は、トレイをシートから外してカバーの装着を行います。トレイは手前に引き出し、左右に揺さぶりながらさらに引っ張るとシートから外れます。

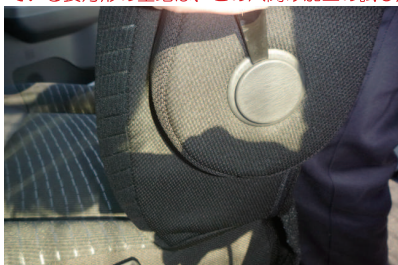


- 30 助手席と運転席で一部形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

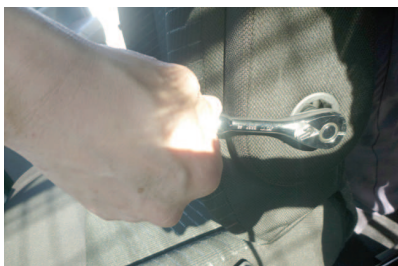
Step 2

…> 1 列目運転席背もたれの装着方法

シートバックテーブル装備車はカバーに穴開け加工が必要になります。穴開け加工の説明は13ページ21番から始まります。シートカバーに同梱している(品番:ET-1162のみ)タグにSBと記載されている長方形の生地は、この穴開け加工の試し用に使用して下さい。その他の用途はありません。



- 1 1列目アームレスト装備車はアームレストを外します。
ヘラなどを使用して図のキャップを外します。



- 2 ソケットレンチなどを使用してアームレストを固定しているボルトを外します。
ソケットは14mmを使用します。

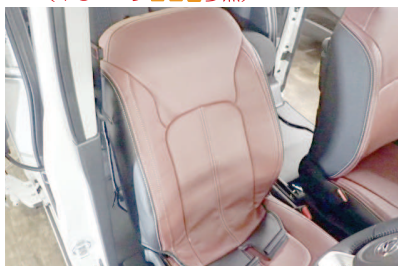


- 3 シートバックテーブル装備車はテーブルをシートから外します。
テーブルを起こすと、裏側に6本のボルトがあります。ソケットレンチなどを使用してボルトを全て外します。
ソケットは10mmを使用します。



- 4 ボルトを外すと図のようにテーブルが外れます。

Point
外したボルトはもう一度ボルトのみシートに固定して下さい。シートに戻したボルトはカバーに穴を開ける目印になります。
(13ページ22番参照)



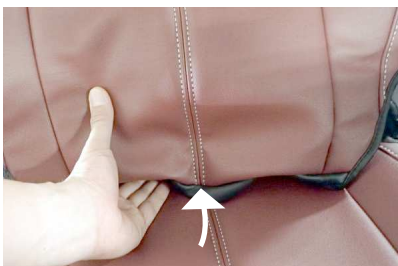
- 5 カバー両側面のファスナーを開いて、シートのラインに合わせてかぶせます。



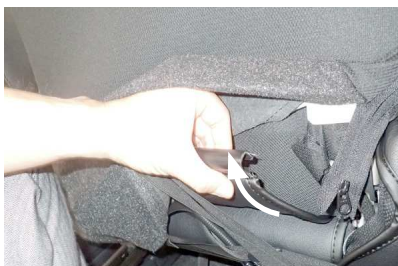
- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。ヘッドレストの片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



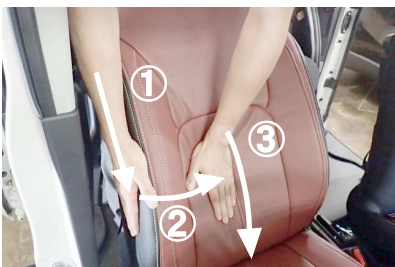
7 生地の伸びを利用して台座を図のように取り出します。



8 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
 生地の手端には大きなフックが付いているので、フックの角で生地を傷付けないように注意して下さい。



9 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。
 ※シートヒーター装備車は座面裏からシートの中央あたりに配線が通っています。配線部分に注意して、生地を引き出して下さい。



10 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せ、中央で余った生地を下へ撫で下ろすようにして、生地をシートに密着させていきます。
 カバー側面のシワが無くなるまで、繰り返して行って下さい。



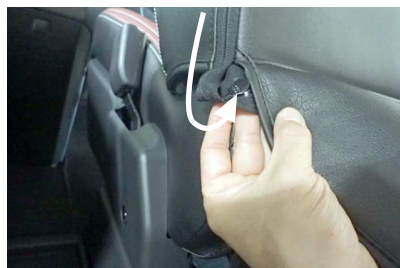
11 シート背面の両端に付いている純正シート表皮のファスナーを開けます。
 ※こちらの作業は必ずしも行う必要はありませんが、12番、13番の作業が分かりやすくなります。



12 ファスナーを開くとシート背面の純正シート表皮が広く開けることができ、9番で引き出した生地がはっきりと見えるようになります。
 生地の手端に付いているフックをシートのフチに引っ掛けて固定します。



13 フックを固定すると図のようになります。



16 ファスナーの端を折り返してカバーの中へ入れ込みます。



14 純正シート表皮のファスナーを閉じます。



17 5ページ1番で外した生地を、元通りに固定します。



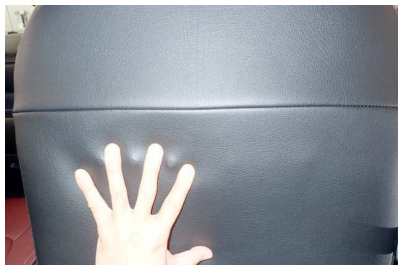
15 カバー両側面のファスナーを生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。



18 カバーの背面に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 19 金属フックはシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



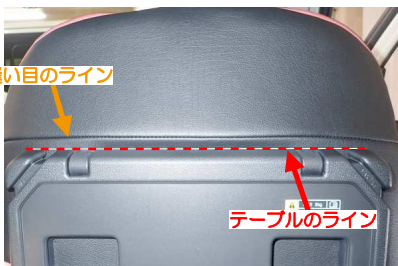
- 22 シート背面のボルトの位置を指で探り、ボルトの位置をしっかりと確認します。
※10ページ4番で記載している通りにボルトをボルト穴に戻していないと、図のようにボルトの形が浮き出てきません。



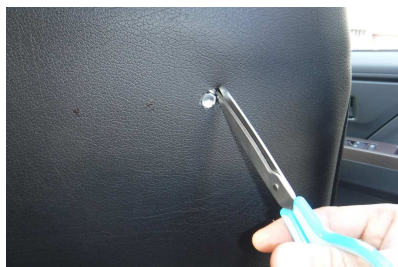
- 20 カバーの背面下は図のようになります。



- 23 ボルトの位置にペンなどで目印を付けます。
15番の説明内容が気になる場合は、ボルトの位置から縫い目の位置が左右でずれていないか確認して下さい。



- 21 シートバックテーブル装備車はここからカバーに穴開け加工をしてテーブルをシートに戻します。作業を始める前に下記の点に注意して作業を行って下さい。
シートカバーには図のようにテーブルの少し上にカバーの縫い目があります。この縫い目に対してテーブルは通常平行に取り付きますがカバーの装着の仕方、テーブルの戻し方により歪む可能性があります。一度穴開け加工を行い、テーブルを戻した後にはこの位置を調整することはできません。この点が気になる方は特に作業を慎重に行ってください。



- 24 印の位置をハサミなどで切ります。ボルトの頭部分程の大きさを開けて下さい。この際純正シート地を傷付けないように、作業は慎重に行ってください。



25 6本とも穴開けを済ました図です。



28 シートバックテーブルを元通りに固定します。ボルトは両端から固定していくと作業が行いやすくなります。ボルトを強く締めすぎるとプラスチックパーツが割れてしまうので、慎重に作業を行って下さい。



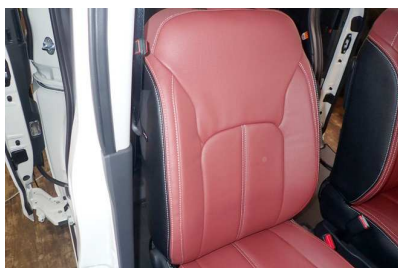
26 シートバックテーブルを固定している両端のプラスチックパーツの裏には、図のように突起している部分があります。この突起している部分が入る穴が両端にはあるのでその部分の穴も開けます。



29 シートバックテーブルの装着完了です。



27 両端に開けた穴を下に少し広げると、図の突起部分が収まる穴が見えます。



30 カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step3

…> 2列目座面の装着方法

2列目のカバーを装着するにあたり、24ページ『要確認事項』1番～3番で記載しているように一部純正機能を損なう部分があります。そのことをご理解いただいた上でカバーの装着を行って下さい。運転席側で説明を行います。



- 1 シート内側の後ろ側から、カバーを引っ掛けるようにかぶせます。シートを少し浮かせた状態にすると作業が行いやすくなります。



- 2 1番でかぶせた位置を起点にして、シートのラインに合わせてカバーを全体にかぶせます。シートベルトバックルの収納部と、カバーの加工穴の位置が合うように調整して下さい。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図のシートの配線が通っている部分はそれ以上生地を引き出せません。その手前まで生地を引き出して下さい。



- 5 引き出した生地を直接シートに貼り付けて固定します。



- 6 シート外側のプラスチック部の内側に、生地を入れ込みます。



7 シート外側のカバーの裏側に、フックが付いています。このフックをシートのフチに引っ掛けて固定します。このフックは1列目背もたれで使った、11ページ12番のフックの固定方法とは異なります。
8番から別車種の図で詳しく説明します。



8 図の①と②の向きをよく確認して下さい。①がフックを縫い付けている付け根側、②がフック先端のツメ側です。7番の図でも同様の位置を指しています。フックをシートのフチに固定します。



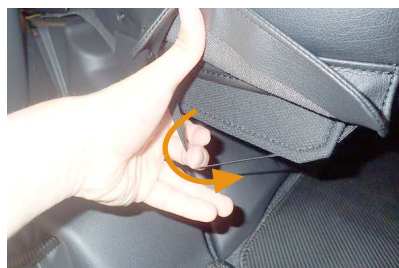
9 8番の①を先頭にフチに引っ掛けていきます。オレンジの矢印のようにフックを内側に回転させながら固定していきます。



10 完全にフックを引っ掛けると図のようになります。①はフチの内側に、②はフチの外側になります。生地もフックと一緒に巻き込むので、外からはフックが完全に見えなくなります。
※別車種の説明はここまでです。



11 フックを固定した外側は図のようになります。
※この固定方法は2列目座面で随所に使用するので、固定方法を間違わないように注意して下さい。



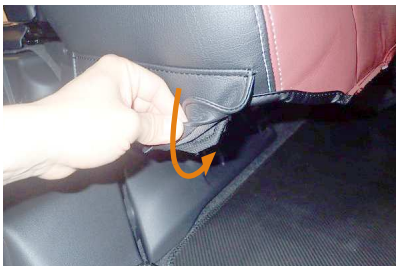
12 シート外側の前側にある長方形の生地にカバーをかぶせます。まずカバーの裏側に付いているゴムを生地の裏側に通します。



- 13 16ページ12番のゴムを、純正シート表皮の長方形の生地を固定しているゴムと同じ位置に引っ掛けて固定します。図はシートの裏側からです。



- 16 カバーの前側に付いているフックを、シート外側部分を固定したカバーと同様に固定します。
(16ページ7番～11番を参照)



- 14 カバーは袋状になっているので、長方形の生地を包み込むようにかぶせます。



- 17 フックを固定すると図のようになります。カバー外側より生地に厚みがあるので、フックはしっかりと固定して下さい。



- 15 かぶせた生地を整えます。シート外側の長方形の生地の部分は、図のようになります。



- 18 シート内側です。シート内側のカバーの裏側にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートの裏側に貼り付けて固定します。

シートを斜めに跳ね上げた状態



- 19 15ページ1番でシート内側に引っ掛けて固定したカバーを、シートの裏から引き出します。引き出した生地に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 20 中央のシートベルトバックル収納部のカバーの裏側に、ゴムが付いています。ゴムをバックルに通します。



- 21 通したゴムはバックルの付け根まで入れ込みます。バックルを収納し直すと、カバーの生地が浮かないように押さえられます。



- 22 もう一つのシートベルトバックル収納部です。こちらにもカバーに付いているゴムをバックルに通します。収納部に入れ込む生地には図のように2か所の切れ込みがあります。

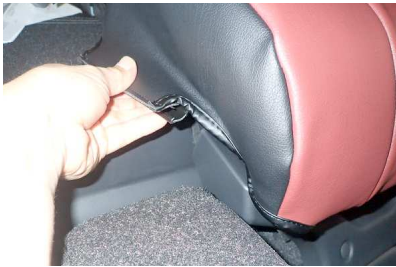


- 23 22番の切れ込み部分で収納部内側のプラスチック部とバックルを固定している純正ゴムをかわして生地を入れ込みます。

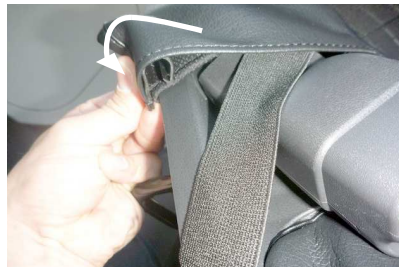


- 24 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。

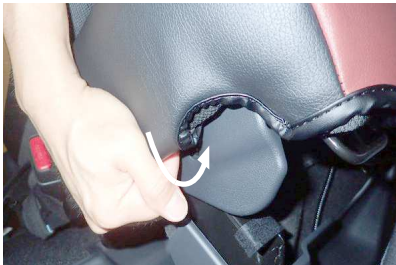
ここから助手席側の説明になります。



- 25 助手席側の内側は運転席側と固定方法が異なります。助手席側の内側にはカバーにフックが付いています。



- 28 シートベルトバックルの付け根部分を覆っている生地の上から、カバーをかぶせます。こちらもシート内側と同様にフックで固定します。フックは前後2か所に付いています。



- 26 フックを運転席側の外側・前側と同様にシートのフチに固定します。
(16ページ7番～11番を参照)



- 29 シートベルトバックルの付け根部分は図のようになります。



- 27 シートベルトバックルのある内側のプラスチック部とシートの隙間に生地を入れ込みます。隙間がかなり狭い部分もあります。ヘラなどを使用して慎重に入れ込んで下さい。



- 30 その他は運転席側と同様に固定します。カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。

Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法



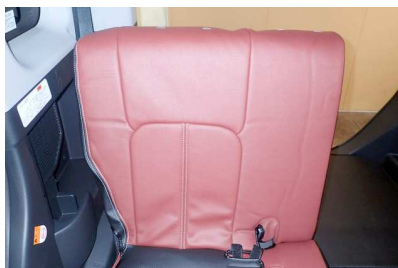
- 1 始めにシートを格納する際に使用するシート背面のベルトを、ドライバーを使用して全て外します。
※こちらのベルトを固定しているネジ穴側の鉄板がかなり薄いため、外す際も戻す際も作業は慎重に行ってください。



- 2 ベルトを全て外すと図のようになります。



- 4 3番で固定した位置を起点に、カバーを矢印方向へかぶせていきます。



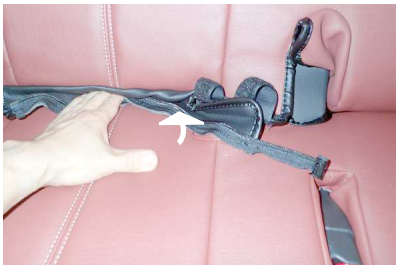
- 5 カバーをシート全体にかぶせて、シートのラインに合わせていきます。



- 3 カバーをかぶせていきます。
運転席側は座面同様にシート内側の下からカバーを引っ掛けるようにかぶせます。
かぶせたカバーは生地たるみが出ないように整えます。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。
※革を使用したシートカバーでは、生地がほとんど伸びない為、加工穴が裂けてくる場合があります。
作業を慎重に行っていただければ、台座の幅以上に裂け目は広がらないので、作業は慎重に行ってください。



7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



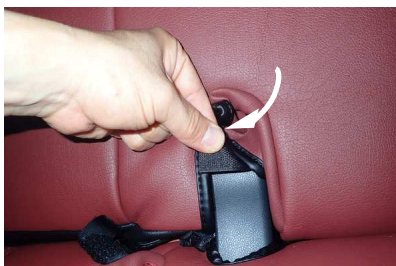
10 9番で入れ込んだ生地をシート背面の軸部分から引き出します。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



8 シート内側の軸付近に、マジックテープが2本付いています。マジックテープも背もたれと座面の隙間に入れ込みます。この際マジックテープがねじれないように注意して下さい。



11 7番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



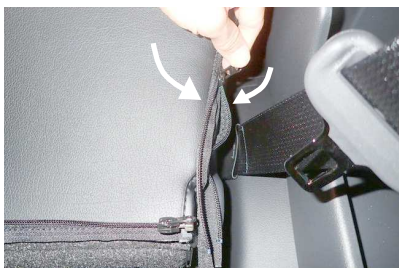
9 シート内側の軸部分の生地にマジックテープが付いています。マジックテープはシートの背面から引き出せるように、生地は軸のフチに沿わせて入れ込みます。



12 8番で入れ込んだ2本のマジックテープをシートの配線部分を挟むようにかわしながら引き出します。



- 13 12番で引き出したマジックテープは、11番で引き出した生地側に付いているマジックテープと固定します。



- 14 カバー外側のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 15 11番で引き出した生地と、カバーの背を下を寄せ合い、ファスナーで固定します。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



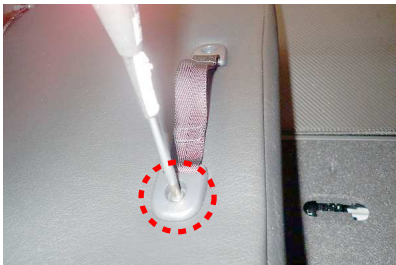
- 16 始めに外したベルトのネジ穴の位置と、カバーの加工穴の位置がずれていないかを確認します。装着が少しでもずれていると穴位置が一部だけずれてきたりする場合があります。全ての穴位置が合うようにカバーのラインを整えます。
カバーの加工穴は後の説明でもありますが小さめに開けているので、レバーを戻した際、加工穴がはみ出さない程度のずれは許容範囲内です。



- 17 シート背面のスライドレバーを固定しているネジを、ドライバーを使用して外します。



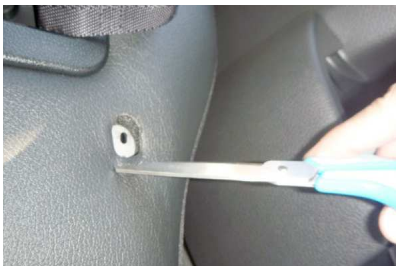
- 18 ネジを外すとレバー部分が図のように外れます。外したレバー部分を生地を挟み込み元通りに固定します。



- 19 始めに外したベルトを元通りに固定します。
※こちらのベルトを固定しているネジ穴側の鉄板がかなり薄いため、ネジ穴を潰さないように慎重に作業を行って下さい。



- 22 ネジを緩めて隙間が広がったリクライニングレバー部分のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。生地を全て入れ込めたら、ネジを締め直します。



- 20 ネジ穴の位置に生地がかぶるようなら、少し生地を切り取り穴を広げて下さい。
※穴を広げる前にベルトを仮に戻してみて加工穴がはみ出さないか確認して下さい。穴を開ける際は純正のシート地を傷付けないように、慎重に作業を行って下さい。



- 23 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。



- 21 シート肩口にあるリクライニングレバーの内側にあるネジを、ドライバーを使用して緩めます。ネジは緩めるだけで完全に外してしまう必要はありません。



- 24 助手席側も最初のかぶせ方は異なりますがその他は同様に取り付けます。カバーのラインを整えて、助手席側背もたれの完成です。



- 1 シートカバーを装着する前は、図のように背もたれを座面側に倒した際にロックが掛かり、レバーを引かないと背もたれが起き上がらない状態になります。しかしカバーを装着することで、生地厚みによりこのロックが掛からなくなります。



- 2 ヘッドレストを図のように出して背もたれを押さえるとロックは掛かります。しかしこの状態では床下へ格納（ダイブイン）出来ません。ロックをしっかり掛けて格納するにはヘッドレストを外していただく必要があります。



- 3 ロックが掛からなくても床下への格納は可能です。通常より生地厚み分、格納時のシートが高くなります。ご理解いただいた上でご使用下さい。



- 1 カバーの前後を確認します。平らなプラスチックが付いている方が前になります。カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレスト先端の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き上げていきます。ヘッドレストの中央あたりで一番きつくなってきます。指でヘッドレストを押し込み慎重にカバーをかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でマジックテープ同士を寄せ合い固定します。



- 4 ヘッドレストをシートから外します。
ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 7 カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 8 2列目ヘッドレストです。
2列目ヘッドレストは図の矢印の方向に、下から上へかぶせます。まずヘッドレストの先端部分の生地がたるまないようにしっかりとかぶせます。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。
ヘッドレスト後ろ側の角部分は、一番装着がきつくなるところです。角の部分を指で押し込みながら、慎重にカバーをかぶせて下さい。



- 10 カバーをヘッドレスト全体にかぶせたら、ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 13 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 11 1列目ヘッドレスト同様に、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。2列目両端のヘッドレスト裏は図のようになります。



- 12 2列目中央ヘッドレストです。ヘッドレスト裏は図のようになります。

Step 6

…→ アームレストの装着方法



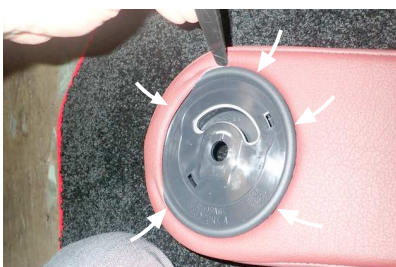
- 1 カバーの大きい加工穴の方から図のようにアームレストにかぶせていきます。アームレストのラインに合わせて、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 4 アームレスト外側は図のようになります。



- 2 矢印の方向へ生地を引っ掛けるようにしてアームレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5 アームレスト内側のプラスチックパーツのフチに生地を入れ込みます。フチの外周全てに生地を入れ込みます。



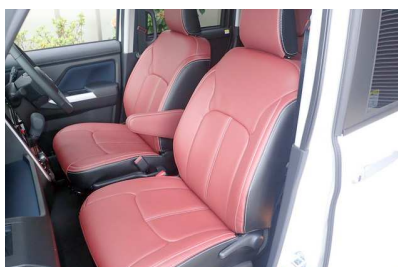
- 3 アームレストの内側は図のようになります。



- 6 アームレストの外側も同様に、プラスチックパーツのフチに生地を入れ込みます。



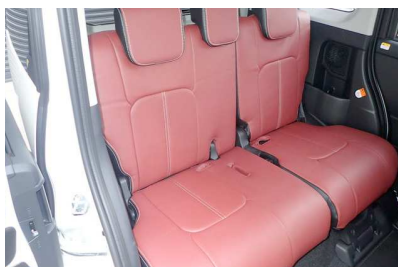
- 7 アームレストをシートに戻します。
※ボルトを強く締めすぎるとアームレストの可動がきつくなるので、適度に調整して下さい。



1 列目



- 8 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



2 列目



2列目格納（ダイブイン）状態

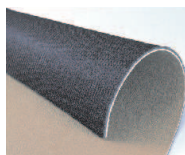


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816